

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



DIGITAL

家庭用ブースター

前置ブースター用給電スイッチ付
DC15V電源重畳方式

— CS/BS-IF・UHF増幅モデル —

UHF33dB/43dB共用形
CS/BS30dB形 **GCU433D1**

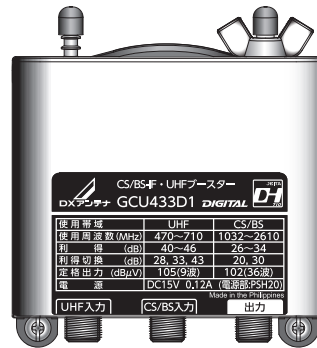
— UHF増幅モデル —

UHF33dB/43dB共用形 **BU433D1**

— CS/BS増幅モデル —

CS/BS30dB形 **GC30**

増幅部(屋外/屋内用)



電源部(屋内用)



ケーブルテレビとFM放送には使用できません。

付属品

防水キャップ* …… 3個
*BU433D1のみ2個

F-5接栓リング付* …… 5個
(5C相当ケーブル用) *BU433D1のみ4個

■ブースターの効果について(知っておいていただきたいこと)

このような場合に **効果があります**

- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場合
- テレビやデジタルレコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

このような場合、ブースターを使用しても **効果がありません**

- 電波の受信品質が低い

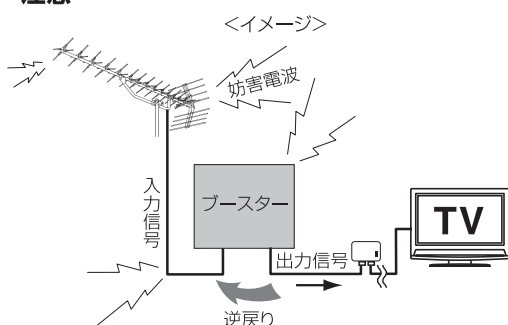
例えは…
・視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けている
・ブースターを接続する前の方がよく映っていた
・朝夕で映らないチャンネルがある など

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。

工事店にご相談ください



ブースターは正しくお使いください。



ブースターは信号を増幅する機能上、正しく取り付けないと、自分の家やご近所のテレビの映りが悪くなる場合があります。

- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実にこなう
- 入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースターに巻きつけない
- 配線には必ず同軸ケーブルを使う
- アンテナマストに取り付ける場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発振(妨害電波を発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなる場合があります。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		機器の分解禁止		水ぬれ禁止		接触禁止		一般的な禁止事項		指示を守る
---	----------	---	---------	---	-------	---	------	---	----------	---	-------

警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- テレビ受信工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

 注意
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない**
火災や感電の原因となります。

 禁止
- 製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜く**
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

 抜取り指示
- 製品の上に乗らない**
こわれたりしてけがの原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

 禁止
- 以下の場所に設置しない**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
・強度の弱い場所
・不安定な場所
・ぐらついたり振動したりする場所
・傾いた場所

 禁止
- ブースター電源部を以下の場所に設置しない**
変形や火災、感電など事故の原因となり、製品寿命が短くなることがあります。
・直射日光の当たる場所
・放熱機能のないボックス内
・屋外・風呂場・洗い場・水がかかる場所
・湿気やほこりの多い場所
・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
・油煙や湯気があたる場所

 禁止

 水ぬれ禁止
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしない**
また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づける)、引っ張ったりしない
火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

 禁止
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く**
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

 抜取り指示
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
感電の原因となります。

 接触禁止
- ブースター電源部を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナやテレビなどと接続しているケーブルははずす**
コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

 抜取り指示
- 雷が鳴り出したら、製品には触れない**
感電の原因となります。

 接触禁止
- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用しない**
火災や感電の原因となります。すぐに、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店・工事店に修理をご相談ください。

 抜取り指示
- 内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない**
火災や感電の原因となります。

 禁止
- 製品を分解・改造しない**
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。

 分解禁止
- 旅行など長期間製品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く**

 抜取り指示
- 電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む**
ゴミやほこりが付着しているときは拭き取ってください。火災の原因となります。

 禁止
- 製品にテーブルクロスやカーテン等の燃えやすいものを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない**
熱がこもり、火災の原因となります。

 禁止

注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- AMラジオから1.5m以上離して使用する**
AMラジオの近くで使用するとラジオ音声にノイズが入る場合があります。

 注意
- お手入れの際は、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わない**
塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。

 禁止

1 各部の名称と機能

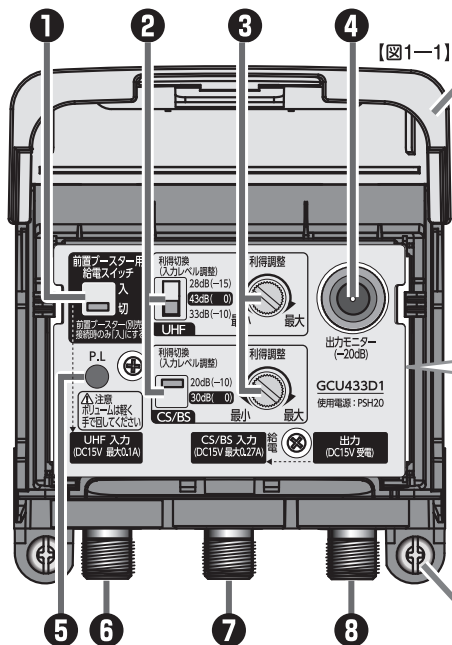
増幅部

GCU433D1 CS/BS-IF・UHF増幅モデル

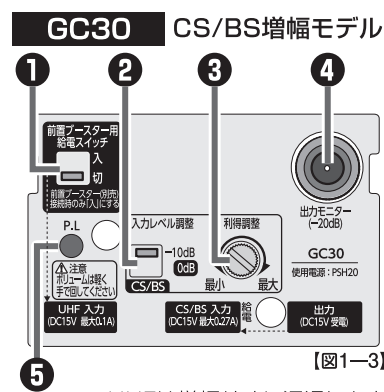
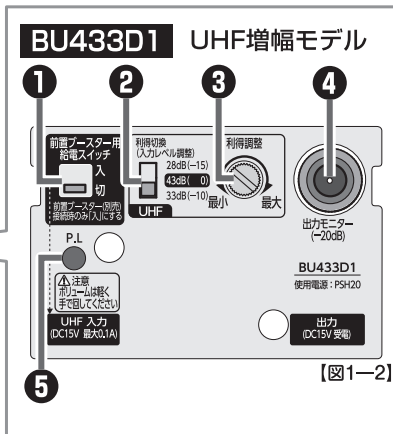


注意

- 前置ブースターを接続しない場合は必ず①を「切」にしてください。「入」で使用すると、本製品が動作せず、故障の原因となります。
- ⑥⑦の入力端子に外付けアッテネーター(減衰器)を接続する場合は、必ず通電仕様のものを使用してください。
- スイッチを切り換える際は切換操作を数回行ない、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。長期間操作をしないと接点部に酸化膜が発生し、接触不良の原因となります。



カバー(カバー下側のウラにあるツマミをつまむとロックがはずれます。) …作業終了後、パチンと音が鳴るまで閉めてください。



※ UHFは増幅せずに通過します。

壁面取付用木ネジ

1 前置ブースター用給電スイッチ

増幅部とUHFアンテナ間に前置ブースターを接続する場合に「入」にします。(電源供給が同軸重畳方式の前置ブースターの場合)

※ 出荷時: 切

2 利得切換(入力レベル調整)スイッチ

アンテナからの信号レベルを下げるときに使用します。

※ 出荷時: UHF側……………33dB(-10)
CS/BS側……………20dB(-10)

3 利得調整ボリューム

各帯域において、利得を10dB連続で可変できます。

※ 出荷時: 利得最大

※ ボリュームは必ず手で回してください。(工具を使うと破損します。)

4 出力モニター端子(-20dB)

レベルチェッカー等を用いて調整をする場合に使用します。

5 P.L.(パイロットランプ)

電源を供給すると点灯します。

6 UHF入力端子

UHFアンテナに接続します。UHF前置ブースターに電源を選択供給する端子です。

7 CS/BS-IF入力端子(GCU433D1, GC30のみ)

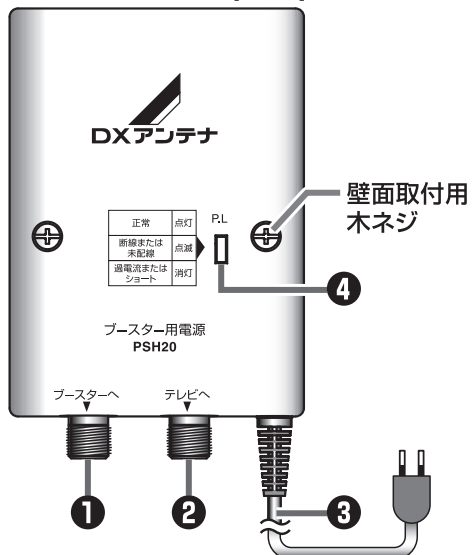
BS・110度CSアンテナに接続します。CS/BSコンバーター用電源(DC15V、最大0.27A)を常時供給する端子です。

8 出力端子

電源部(ブースターへ)に接続します。増幅された信号が出力されます。

電源部

【図1-4】



1 ブースターへ(増幅部側端子)

増幅された信号の入力端子です。同時に増幅部側へ電源を供給します。

2 テレビへ(テレビ側端子)

増幅された信号をテレビ側へ出力します。

3 電源コード

電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むことにより、電源供給を行ないます。

※ パイロットランプが点灯しない、異常に熱くなる等の異常がない限り電源コードは抜かないでください。テレビ放送が見られなくなります。

4 P.L.(パイロットランプ)

電源が増幅部に正常に供給されると点灯します。同軸ケーブルがショートや断線していると、下記のように光でお知らせします。

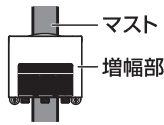
【状態】 【お知らせ】

正常	点灯	P.L.
断線または未配線	点滅	
過電流またはショート	消灯	

※ 点滅・消灯のときはウラ面「6 うまく映らないときは」の⑥をご覧ください。

2 取り付ける

垂直マストに取り付ける

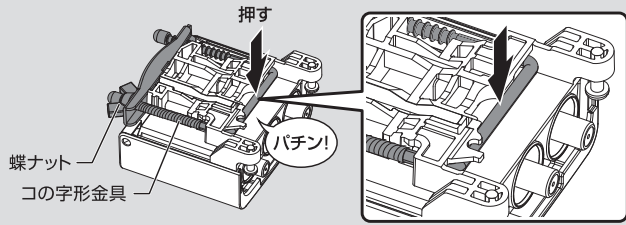


取付可能な場所と
取り付けかた

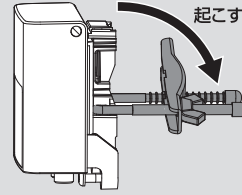
増幅部	屋内・屋外	マスト取付・ステンレスバンドによる取付・壁面取付
電源部	屋内のみ	壁面取付、または据え置き

1 コの字形金具をはずす

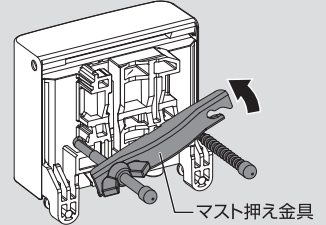
金具がはずれにくい場合は蝶ナットを少し緩めてください。



2 コの字形金具を90°起こす



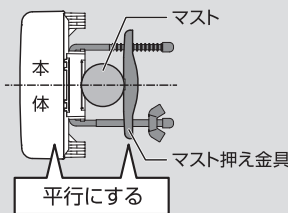
3 マスト押え金具の一方(右側)をはずす



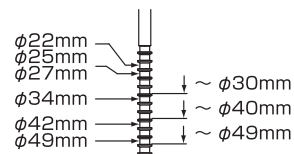
4 本体とマスト押え金具でマストをはさむ

本体は入出力端子が下向きになるように取り付けてください。

〈上から見た図〉



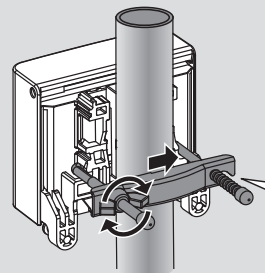
取付マスト径の目安



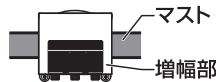
5 マスト押え金具をしっかりと引っ掛け、蝶ナットをしっかりと締め付ける

マスト押え金具を矢印の方向にスライドして、奥までしっかりと引っ掛けてください。
●隙間があると脱落や事故の原因になります。

その後、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。 締付トルク: 1~1.5N・m

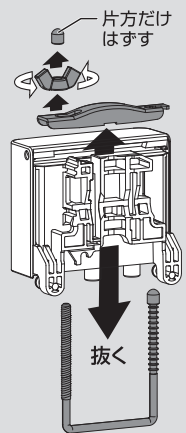


水平マストに取り付ける



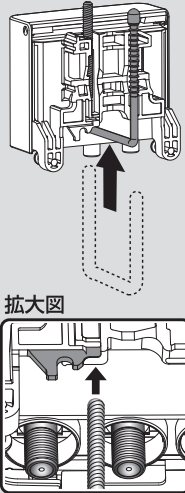
コの字形金具を付け換えると、水平マストにも取り付けできます。
付け換え手順は下記をご覧ください。

1 コの字形金具をはずす

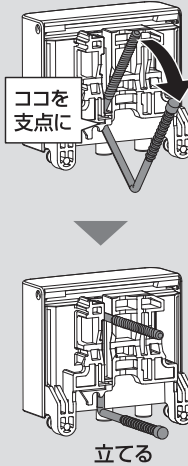


はずした部品は、なくさないようにご注意ください。

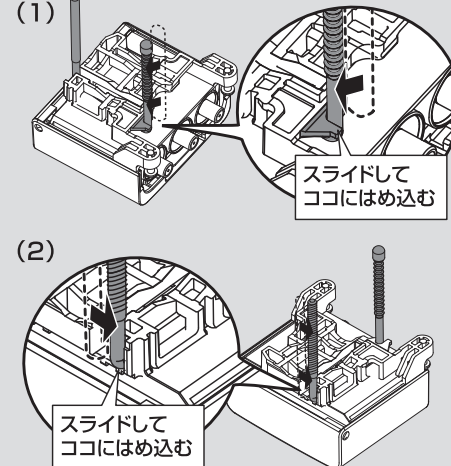
2 差し込む



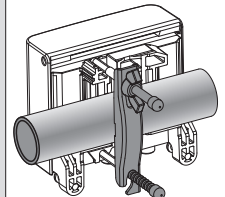
3 回転させて起こす



4 固定する



完成図



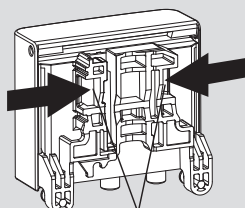
上記「垂直マストに取り付ける」④、⑤を参考に、マストへ取り付けてください。

ステンレスバンドで取り付ける

(φ49mmを超える垂直マストに取り付ける場合)

市販のステンレスバンド(10mm幅)を本体裏面の側面穴に通して取り付けください。

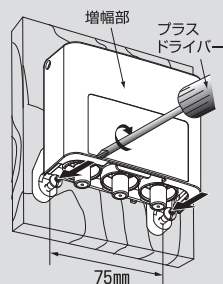
- コの字形金具は黄色いキャップと蝶ナットをはずして本体から取りはずしてください。



ステンレスバンド通し穴
(左右どちらからでも通せます)

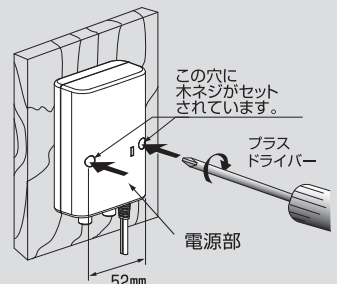
板壁へ取り付ける

本体下部を木ネジ2本で平らな面にしっかりと固定してください。



電源部 板壁へ取り付ける

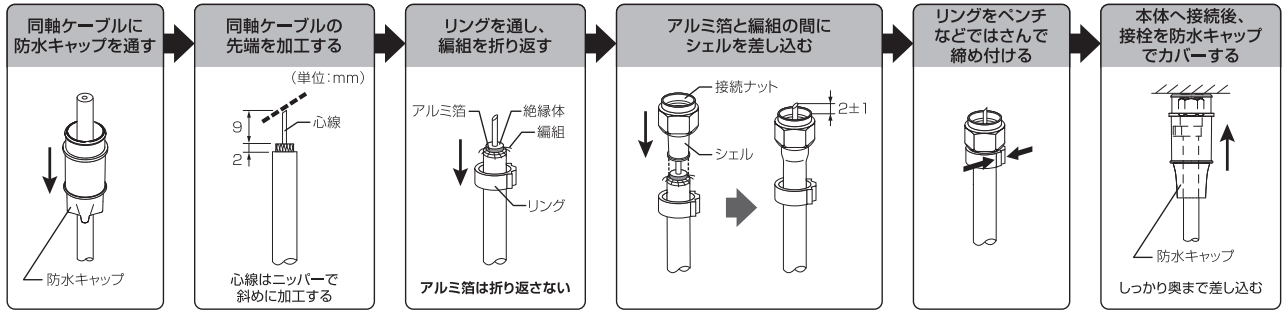
工場出荷時に、両側の穴に壁面取付用木ネジがセットされています。平らな面に電源部を当て、しっかりと固定してください。



3 同軸ケーブルを準備する

F-5接栓(付属品)への同軸ケーブル接続方法(S-5C-FBケーブルの場合)

接栓締付トルク: 1~2N・m



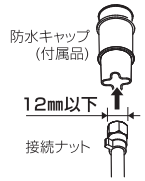
で注意

- 同軸ケーブルの先端加工をする際は、心線、編組に傷をつけますと断線の原因となります。
- 心線と編組は絶対に接触させないでください。故障の原因となります。
- 心線に絶縁体の白い膜が付いている場合は接触不良の原因となりますので、必ずこすり落としてください。

で参考

- 付属の防水キャップは接栓の加工後でも、接続ナットの対辺が12mm以下であれば取り付けることができます。

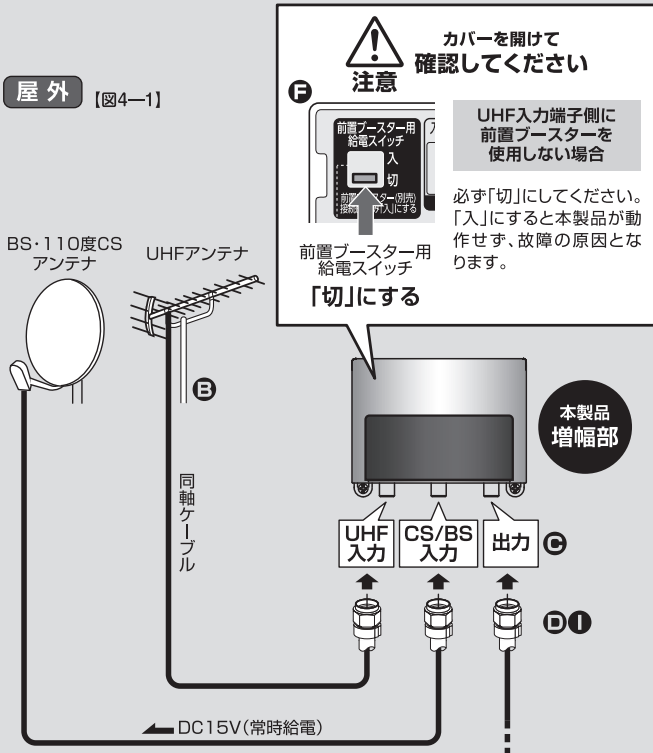
ご注意: 接栓の加工後に防水キャップを通す際は、心線で手を突くなどしてけがをしないようご注意ください。(特に冬季などの低温時は防水キャップが硬くなり、通しにくい場合がございます)



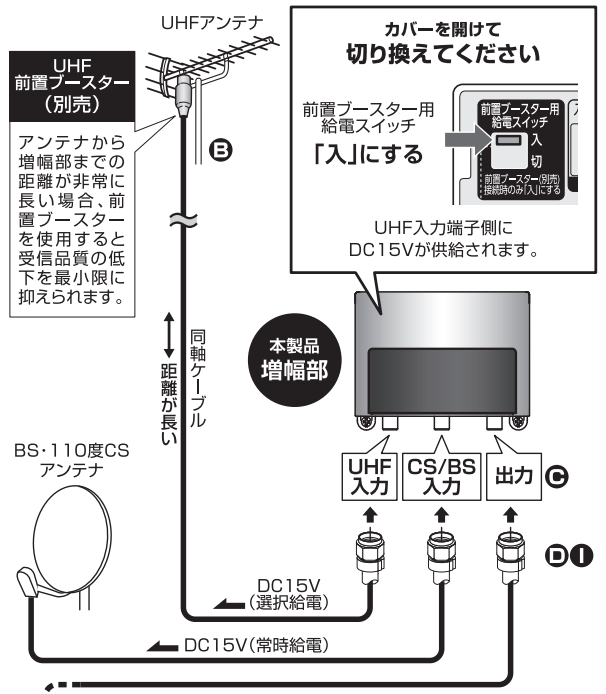
4 接続例

※図中のA~Kは、後述「うまく映らないときは」に対応しています。

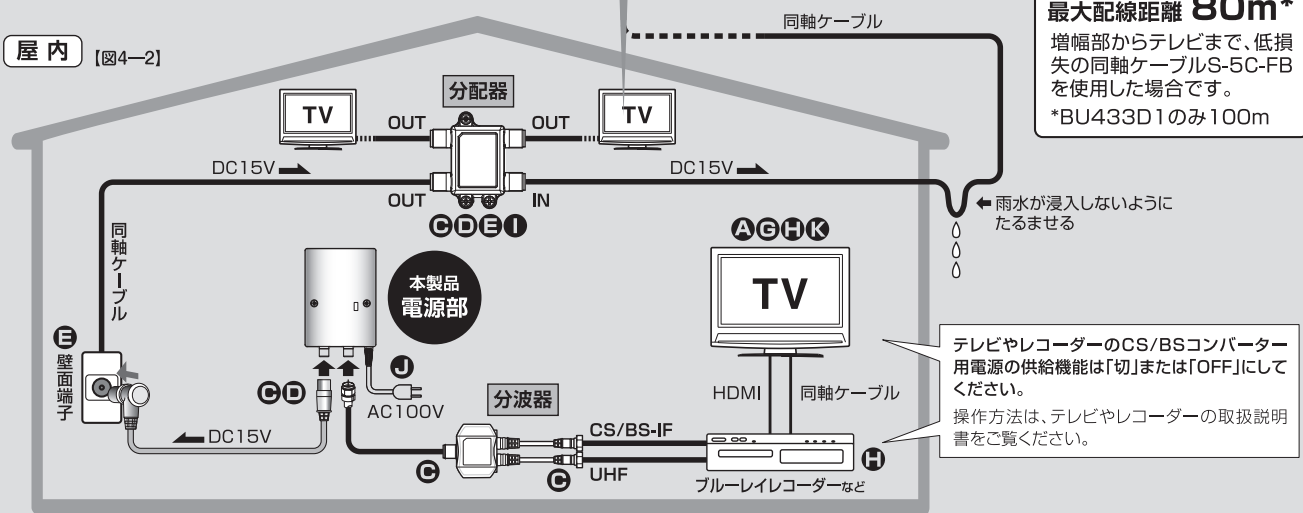
屋外 【図4-1】



(UHF前置ブースターを使用する場合) 【図4-3】



屋内 【図4-2】



5 調整する

調整を
はじめる前に

下記の出荷時設定になっていることを確認してください。また増幅部、電源部にケーブルを全て接続してください。次に電源部の電源プラグをAC100Vコンセントに接続し、増幅部と電源部のパイロットランプがともに点灯することを確認してください。(なお、UHF前置ブースターを使用する場合は前置ブースター給電スイッチを「入」にしてください。)
 出荷時：●利得切換(入力レベル調整)…UHF:33dB(-10)側、CS/BS:20dB(-10)側 ●利得調整ボリューム…最大
<パイロットランプが点灯しない、または点滅している場合>
 ページ右上の「6 うまく映らないときは」の⑥を確認し、問題を解決してから次の「スタート」にすすんでください。

スタート

ブースター接続後、画面はどのようになっていますか？

画像が映らない
(黒い画面)

モザイク状の
ノイズがでる



画像は正常に
映っている

特に調整をする
必要はありません

最終確認

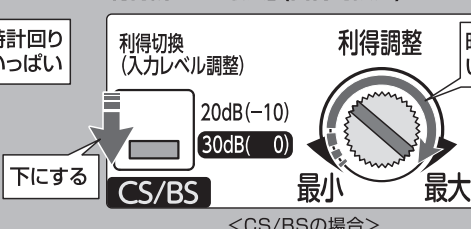
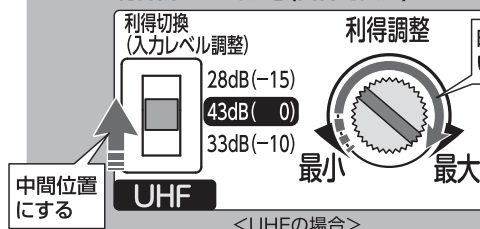
ご使用のテレビの説明書をご覧ください。初期設定の「アンテナ調整」画面で表示レベルが安定して受信可能であることを確認してください。

OK

1

利得切換を「43dB(0)」、
利得調整を「最大」(出荷時設定)にする。

利得切換を「30dB(0)」、
利得調整を「最大」(出荷時設定)にする。



視聴可能です
ブースターへの
入力不足が原因
でした。

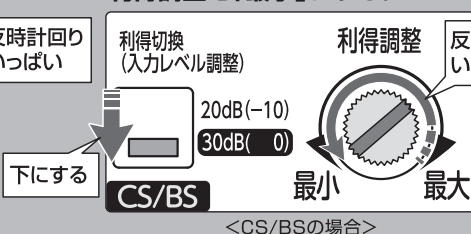
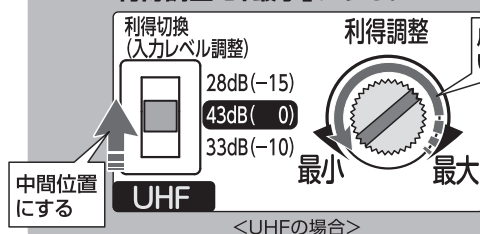
映る

× ↓ 映らない

2

利得切換を「43dB(0)」、
利得調整を「最小」にする。

利得切換を「30dB(0)」、
利得調整を「最小」にする。



視聴可能です
テレビに対する
入力オーバーが
原因でした。

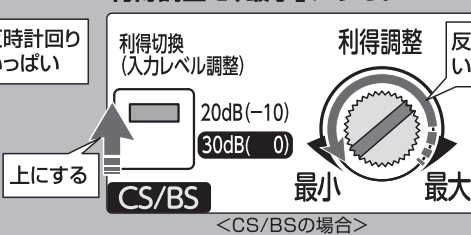
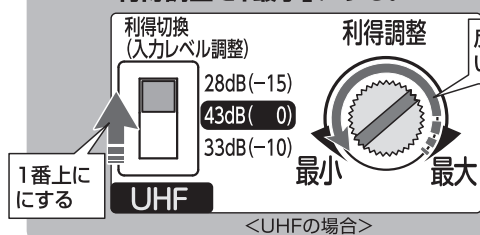
映る

× ↓ 映らない

3

利得切換を「28dB(-15)」、
利得調整を「最小」にする。

利得切換を「20dB(-10)」、
利得調整を「最小」にする。



視聴可能です
ブースター・テレビ
両方に対する入力
オーバーが原因で
した。

映る

× ↓ 映らない

ページ右上「6 うまく映らないときは」の各項目を確認してください。

それでも映らない場合…

ブースター単体では改善が困難です。

著しい入力不足か、入力オーバーかを診断するために、ご購入店、または工事店にご相談願います。

著しい入力不足の場合

アンテナの高さや方向の再調整を行なってください。それでも受信できない場合は、前置ブースターの追加や、高利得/狭指向性のアンテナへの変更を検討してください。

著しい入力オーバーの場合

外付けアッテネーターの追加で改善する可能性があります。

6 うまく映らないときは ここをチェックしてください

調整しても放送が映らない場合や、後日画面にノイズがでたり、映らなくなった場合は下記項目をチェックしてください。

ご参考

テレビの設定メニューなどで表示・確認できる「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値が、ブースターを使用しても変わらない、あるいは下がる場合がありますが、これらの機能はアンテナの方向調整を目的にしたもので、電波の強さ(レベル)を示すものではありません。受信品質を向上させるためにはアンテナの高さや方向を再調整する、または高性能アンテナに変更する必要があります。

調整時

映らない／ノイズがでる

症状

ここをチェック 左の接続例とあわせてご覧ください

対策・処置のしかた

以前から地上デジタル放送は映っていませんか？ **接続例 A**

受信品質が低いために以前から映っていなかったり、視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けても映るようになりません。

UHFアンテナの向きが、お客さまの視聴エリアの電波塔に向いていますか？ **接続例 B**

受信品質を改善するにはアンテナの方向や高さを変えたり、高性能アンテナに交換する等ご購入店、または工事店にご相談ください。

各機器の端子へのケーブル接続は正しくつながっていますか？ **接続例 C**

各機器の端子を確認し、間違っていたら接続しなおしてください。

電源部や増幅部のパイロットランプ(P.L)が点滅したり(電源部のみ)、消えていませんか？ **接続例 D**

接栓の心線が曲がって接続されていたり、心線に編組(網)線が接触(ショート)していると映りません。接続例 D の接栓加工部を確認し、接続しなおしてください。

壁面のTV端子(TVコンセント)や分配器を使用していますか？ **接続例 E**

電源部と増幅部の間に接続する機器は、通電形(*)を使用し、必ず指定された通電端子にケーブルを接続してください。
*電流を通過させる端子を持った機器。

前置ブースター用給電スイッチが「入」になっていませんか？ **接続例 F**

前置ブースターを使用していない場合は、必ず「切」にしてください。
「入」にすると、アンテナがショートして故障の原因となります。

テレビのアンテナレベルがテレビの受信推奨レベル以上になっていますか？ **接続例 G**

ご使用のテレビの説明書の受信推奨レベルをご確認いただき、テレビの「初期設定」の「アンテナレベル」を画面で確認しながら、再度ブースターを調整してください。

→調整のしかたは「調整する」参照

後日

ノイズがでるようになった
映らなくなった

テレビやレコーダーなどの機器を増設しましたか？ **接続例 H**

受信レベル不足が原因です。利得切換(入力レベル調整)スイッチを43dB(0)側にし、利得調整ボリュームを最大方向にゆっくり回してください。

→調整のしかたは「調整する」参照

同軸ケーブルが破損、断線していませんか？ **接続例 I**

各ケーブルを確認して、断線していたら交換してください。

電源部のプラグがAC100Vコンセントから抜けていませんか？ **接続例 J**




抜けている場合は、差し直してください。

テレビのアンテナレベルがテレビの受信推奨レベル以上になっていますか？ **接続例 K**

最初に調整したときに、十分な受信レベルに調整できていなかった可能性があります。ご使用のテレビの説明書の受信推奨レベルをご確認いただき、テレビの「初期設定」の「アンテナレベル」を画面で確認しながら、再度ブースターを調整してください。

→調整のしかたは「調整する」参照

仕様

型番	GCU433D1 		BU433D1 	GC30 	
使用帯域	UHF	CS/BS-IF	UHF	UHF	CS/BS-IF
使用周波数(MHz)	470~710(ch.13~52)	1032~2610	470~710(ch.13~52)	470~710(ch.13~52)	1032~2610
利得(dB)	40~46	26~34	40~46	0~4	26~34
雑音指数(dB)	1.5以下※1	4.0以下	1.5以下※1	—	4.0以下
利得調整範囲(dB)	0~10以上(連続可変)	0~10以上(連続可変)	0~10以上(連続可変)	—	0~10以上(連続可変)
利得切換(入力レベル調整)(dB)	28, 33, 43(スイッチ切換)	20, 30(スイッチ切換)	28, 33, 43(スイッチ切換)	—	0, -10(スイッチ切換)
入力レベル範囲(dBμV)	41~77※2	44~82※3	41~77※2	—	44~82※3
定格出力(dBμV)	105(9波)	102(36波)	105(9波)	—	102(36波)
VSWR	3.0以下	2.5以下	3.0以下	3.0以下	2.5以下
重量電源通電容量	DC15V 0.1A	DC15V 0.27A	DC15V 0.1A	DC15V 0.1A	DC15V 0.27A
消費電力(電源: PSH20使用時)	3.0W(0.12A) 7.6W(0.38A)※4 9.4W(0.48A)※5		2.0W(0.07A) 3.9W(0.17A)※6		1.9W(0.06A) 6.5W(0.31A)※4 8.2W(0.41A)※5
入出力インピーダンス(Ω)	75(F形)				
使用温度範囲(°C)	-20~+50				
外形寸法(mm)	84(H)×90(W)×47(D)				
質量(kg)	0.22				

JEITA表示による

電源部 PSH20	使用周波数(MHz)	10~2610	挿入損失(dB)	0~1.2(10~1000MHz) 0~2.0(1000~2610MHz)
	電源/定格消費電力(V/W)	AC100(50/60Hz)/10	使用温度範囲(°C)	-10~+40
	重量電源(V/A)	DC15/0.5	外形寸法(mm)	97(H)×70(W)×35(D)
	入力インピーダンス(Ω)	75(F形)	質量(kg)	0.2
	出力インピーダンス(Ω)	75(F形)		

※1 470~500MHz: 1.7以下、650~710MHz: 2.0以下(最大利得時)

※2 利得切換(入力レベル調整)43dB (0)使用時: 41~62dBμV
33dB(-10)使用時: 51~71dBμV
28dB(-15)使用時: 56~77dBμV

※3 利得切換(入力レベル調整)30dB (0)使用時: 44~72dBμV
20dB(-10)使用時: 54~82dBμV

※4 CS/BSコンバーター用電源供給時

※5 CS/BSコンバーター用電源+UHF電源供給時 ※6 UHF電源供給時

●この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

●電源部の規格は、電源部本体の裏面にも表示しています。仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。



DHマーク710(デジタルハイビジョン受信マーク710)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)で審査・登録された一定以上の性能を有する機器のうち、UHF帯域(ch.13~ch.52)に対応したブースターに付与されるシンボルマークです。



DHマーク(デジタルハイビジョン受信マーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。


保証書

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、当社カスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、当社カスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当社カスタマーセンターを通じて無料修理いたしますのでお申しつけください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
6. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型番		お買上年月日		保証期間	お買上日から
GCU433D1 / BU433D1 / GC30		年 月 日			1 年 間
ご販売店	ご住所・ご店名		ふりがな		
	電話()		様		
お客様	お名前		電話()		
	ご住所				

カスタマーセンター  0120-941-542 携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用になれない場合 03-4530-8079

お昼時間土日祝日もご利用ください!

【受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く】

DXアンテナ株式会社

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(1404)